

# 喜多方市下高額地区

## 1 想定するモデルとしての姿、モデルとする事項

- 転換畑の集約化・団地化による排水、湿害対策（10～100a区画ほ場が点在）
- ブロックローテーション、緑肥作物導入による肥料削減及び収量の高位平準化
- 高タンパク・耐寒雪性品種の現地実証による品質の高位平準化（近隣地区で、有望品種「夏黄金」の現地実証）

ほ場の作付状況（R5）  
赤小麦ゆきちから  
黄緑水稲コシヒカリ  
黄水稲天のつぶ



←会津縦貫道

## 2 生産概要（中心的な担い手の概要）

- 【作付面積】水稲26ha、小麦5.3ha、ネギ：1ha（R5）
- 水稲1作・小麦2作の輪作によるブロックローテーション
- 集落営農組織の法人化を契機に（平成30年法人設立）、小麦の作付けを開始し、徐々に作付けを拡大（R3年播種：3.0ha → R5年播種：5.3ha）

喜多方市街近郊  
雄国山麓を望む



## 3 取組のポイント（モデルとして構築する取組）

### <需要に応じた生産の徹底>

- 主食用米の計画生産に向けて、飼料用米、備蓄米に加え畑作物（小麦）への転換を図っている。

### <土地利用型畑作物の生産振興>

- 地元商工団体から喜多方ラーメンへの食材提供を求められており、当地区ではネギの供給を開始した。また、小麦（粉）の供給に向けて、製麺業者等を含めて検討を行っている。

喜多方市内では、新たに乾燥調製施設が導入される等、小麦作付が拡大しており、畑作物生産振興支援チームにおいて、品質向上や生産ロット確保に向け広域的な連携等を検討中。

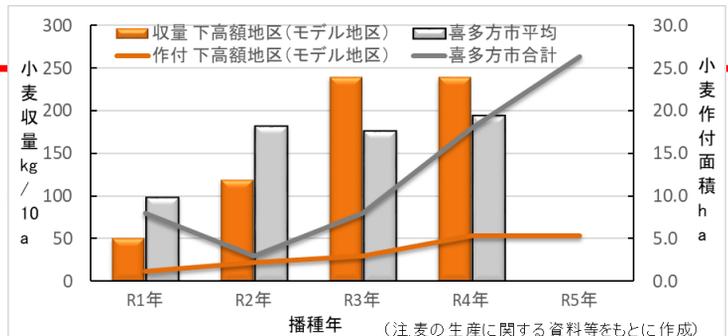
## 4 取組成果

- 収量の向上及び安定生産  
単収(kg/10a)

R2播種年120kg(喜多方市平均182kg)



R3、R4播種年240kg  
(同176kg、194kg)



## 5 課題（6年度のポイント）

- 排水対策及び雑草対策の徹底による収量向上  
連担化した小區画転換畑における小麦栽培の適応性を検証中（新品種・新技術等実証ほを設置）
- 小麦有望品種「夏黄金」に関する実証プロジェクトの動きがある（今後、参画の検討へ）